２０２６年度　東京都立大学大学院

人文科学研究科　入学試験

（９月入試）

教室名（分野名）	社会人類学教室
課程	博士前期課程
試験区分	☑　一般学生 □　外国人特別学生（留学生）
試験科目名	言語科目（英語Ⅰ）
出題の意図	研究を進めるために必要な基本的な英語翻訳力を問う問題である。

※公開している入試問題について、私的利用以外の目的で複製・転載・転用することを一切禁じます。

2026 年度　東京都立大学大学院人文科学研究科

社会行動学専攻

社会人類学教室

博士前期課程（一般学生）

言語科目（英語Ⅰ）試験問題

2025 年 9 月 24 日（水）

9：30～12：30

※設問ごとに別々の答案用紙を使用すること。

※答案用紙に受験番号・氏名・問題番号を記入すること。

※答案用紙の裏面は使用しないこと。

※辞書持込可（1 言語科目につき 1 冊）。

2026年度東京都立大学大学院人文科学研究科
社会行動学専攻社会人類学教室　博士前期課程（一般学生）
入学試験問題

英語Ⅰ－①

問

内容を600字

程度の日本語で要約しなさい（25点）。

問題本文は著作権上、ホームページに掲載することはできません。
出典を参考にするか、東京都立大学南大沢キャンパス人文社会学部教務係の窓口で閲覧してください。

出典：Lila Abu-Lugod 1999
Veiled Sentiments: Honor and Poetry in a Bedouin Society.
University of California Press.
一部改変

2026年度東京都立大学大学院人文科学研究科
社会行動学専攻社会人類学教室　博士前期課程（一般学生）
入学試験問題

英語Ⅰ－②

問　次の文章の内容を600字程度の日本語で要約しなさい（25点）。

問題本文は著作権上、ホームページに掲載することはできません。
出典を参考にするか、東京都立大学南大沢キャンパス人文社会学部教務係の窓口で閲覧してください。

出典：Giuffre, K. 2016(2009) *Collective Creativity: Art and Society in the South Pacific*. Routledge.

２０２６年度　東京都立大学大学院

人文科学研究科　入学試験

（９月入試）

教室名（分野名）	社会人類学教室
課程	博士前期課程
試験区分	☑　一般学生 □　外国人特別学生（留学生）
試験科目名	言語科目（英語Ⅱ）
出題の意図	研究を進めるために必要な基本的な英語読解力を問う問題である。

※公開している入試問題について、私的利用以外の目的で複製・転載・転用することを一切禁じます。

2026 年度　東京都立大学大学院人文科学研究科

社会行動学専攻

社会人類学教室

博士前期課程（一般学生）

言語科目（英語Ⅱ）試験問題

2025 年 9 月 24 日（水）

9：30～12：30

※設問ごとに別々の答案用紙を使用すること。

※答案用紙に受験番号・氏名・問題番号を記入すること。

※答案用紙の裏面は使用しないこと。

※辞書持込可（1 言語科目につき 1 冊）。

2026年度東京都立大学大学院人文科学研究科
社会行動学専攻社会人類学教室　博士前期課程（一般学生）
入学試験問題

英語Ⅱ－①

問　次の文章をふまえて、デジタル時代の人類学的研究のありかたに関するあなたの考えを800字程度の日本語で論じなさい（25点）。

問題本文は著作権上、ホームページに掲載することはできません。
出典を参考にするか、東京都立大学南大沢キャンパス人文社会学部教務係の窓口で閲覧してください。

出典

Collins, S. and Durington, M.
2015 *Networked Anthropology: A Primer for Ethnographers.*
London &New York: Routledge.

2026年度東京都立大学大学院人文科学研究科
社会行動学専攻社会人類学教室　博士前期課程（一般学生）
入学試験問題

英語Ⅱ－②

問　次の文章を読んで設問に答えなさい（25点）。

問題本文は著作権上、ホームページに掲載することはできません。
出典を参考にするか、東京都立大学南大沢キャンパス人文社会学部教務係の窓口で閲覧してください。

出典: Eriksen, T.H., Engaging Anthropology: The Case for a Public Presence, Berg, 2006.

問１　本文の内容を適切に表す10 words程度の英語のタイトルをつけなさい。

問２　下線部の記述からうかがえる筆者の主張を100 words程度の英語で説明しなさい。

２０２６年度　東京都立大学大学院

人文科学研究科　入学試験

（９月入試）

教室名（分野名）	社会人類学教室
課程	博士前期課程
試験区分	☑　一般学生 ☐　外国人特別学生（留学生）
試験科目名	基礎知識
出題の意図	研究を進めるために必要な社会（文化）人類学とその関連分野における基礎知識と論述能力を問う問題である。

※公開している入試問題について、私的利用以外の目的で複製・転載・転用することを一切禁じます。

2026 年度　東京都立大学大学院人文科学研究科

社会行動学専攻

社会人類学教室

博士前期課程（一般学生）

基礎知識　試験問題

2025 年 9 月 24 日（水）

13：30～15：30

※設問ごとに別々の答案用紙を使用すること。

※答案用紙に受験番号・氏名・問題番号を記入すること。

※答案用紙の裏面は使用しないこと。

2026 年度東京都立大学大学院人文科学研究科
社会行動学専攻社会人類学教室　博士前期課程（一般学生）
入学試験問題

基礎知識①

問　次の語群 A から３つ、語群 B から２つを選び、それぞれについて知るところを述べなさい。なお、A 群と B 群は答案用紙を分けて記述すること。また、解答の際には冒頭に選んだ番号と語を明記すること（50 点）。

A 群	
①　機能主義	②　「文化を書く」
③　出自集団	④　植民地主義
⑤　マルセル・モース	⑥　ティム・インゴルド

B 群	
①「男は文化で、女は自然か」	②　ホモソーシャリティ
③　存在論的転回	④　リーガル・プルーラリズム

2026 年度東京都立大学大学院人文科学研究科
社会行動学専攻社会人類学教室　博士前期課程（一般学生）
入学試験問題

基礎知識②

問　家事労働という主題について、具体的な例を挙げながら 800 字程度で自由に論じなさい（25 点）。

2026 年度東京都立大学大学院人文科学研究科
社会行動学専攻社会人類学教室　博士前期課程（一般学生）
入学試験問題

基礎知識③

問　「儀礼とパフォーマンス」というテーマでフィールドワークにもとづく研究をするとしたら、どのような調査研究計画を立てますか。具体的な対象を仮に設定したうえで、調査研究計画の骨子を説明しなさい。字数制限は特に設けません。なお、大学院入学後の研究計画に結び付ける必要は特にありません（25 点）。

２０２６年度　東京都立大学大学院

人文科学研究科　入学試験

（９月入試）

教室名（分野名）	社会人類学教室
課程	博士前期課程
試験区分	☑　一般学生 □　外国人特別学生（留学生）
試験科目名	論文
出題の意図	研究を進めるために必要な基礎学力と論述能力を問う問題である。

※公開している入試問題について、私的利用以外の目的で複製・転載・転用することを一切禁じます。

2026 年度　東京都立大学大学院人文科学研究科

社会行動学専攻

社会人類学教室

博士前期課程（一般学生）

論文　試験問題

2025 年 9 月 25 日（木）

10：00～12：00

※答案用紙に受験番号・氏名を記入すること。

※答案用紙の裏面は使用しないこと。

二〇二六年度東京都立大学大学院人文科学研究科
社会行動学専攻社会人類学教室　博士前期課程（一般学生）

論文

問　以下の文章を読んで、後の設問に答えなさい。

問題本文は著作権上、ホームページに掲載することはできません。
出典を参考にするか、東京都立大学南大沢キャンパス人文社会学部教務係の窓口で閲覧してください。

問題本文は著作権上、ホームページに掲載することはできません。
出典を参考にするか、東京都立大学南大沢キャンパス人文社会学部教務係の窓口で閲覧してください。

出典：R・フォックス『親族と婚姻』（川中健二訳）思索社、一九七七年。

取消線は出題者による。

問1　下線部①において著者が　　と論じた理由を二〇〇字程度の日本語で説明しなさい（一五点）。

問2　下線部②において著者は　　と述べている。それが意味するところと、道の切り開き方についてあなた自身の考えるところを、あわせて一〇〇〇字程度の日本語で論じなさい（三五点）。